

## 懇話会の検討にあたり参考となる取組

## 〔テーマ1：地域コミュニティ活性化に向けた地域組織について〕

## 1 大岩山の再生に向けた取組（深草支所）

## (1) 課題

伏見区深草にある大岩山は、夜間は暗く、人目につかない山林が多いことなどから、かねてから大量の不法投棄が絶えず、地域の課題となっていた。

## (2) 地域住民と京都市との協働の取組

平成19年9月に伏見区役所深草支所，まち美化事務所等本市関係部局，警察署，京都市農協深草支部，NPO法人京都深草ふれあい隊竹と緑（平成18年設立），深草自治連合会等，行政と地域住民が協働で不法投棄物を重点的に回収し，地域の竹を使用した不法投棄防止柵等の設置を行った。

この取組がきっかけとなり，「深草の環境を良くしたい」との思いから地域住民が動き出し，平成20年2月から，地域住民，NPO，各種団体，学生等と行政が協働で不法投棄を根絶し，美しい里山に再生することを目指し「わがまち深草・大岩山ワークショップ」を開始し，大岩山の再生活動をスタートした。

活動にあたっては，「出来ることから始めよう」「誰でも，いつでも，好きなときに参加できる」「いろいろな出会いがある」という基本姿勢の下，地域住民同士の交流や，外国からの研修生（タイ，アフリカ）との交流を図る等，交流の幅を広げ，これまで延べ約1,000名の地域住民等が参加している。

## (3) 活動の成果

これまで13回のワークショップを開催し，不法投棄ゴミの撤去（約100t），竹柵の作成，設置等の活動を行うとともに，地元中学校や高校，ワークショップ参加者により手作りの啓発看板を作成，設置し，「森の美術館」と呼ぶにふさわしい道になりつつある。

今後も「竹と花・緑の路（みち）深草 森の美術館」を合言葉に，地域住民と共に「里山」の再生保全活動を進めていく。

## (参考：大岩街道周辺地域の経過)

昭和40年代 違法な造成や野外焼却行為が始まる

平成 8年 是正指導実施，京都市取組方針決定

- ・ 野焼きなど悪質・重大な違法行為の排除
- ・ 将来的な土地利用構想の策定

## 2 東山区役所と住民との協働の取組

裏面「東山区における主なまちづくりの取組」参照

# 東山区における主なまちづくりの取組

## 東山区の抱える主な課題

時代の担い手不足による  
地域コミュニティの減退

|     | 年少人口 | 生産年齢人口 | 老年人口 |
|-----|------|--------|------|
| 東山区 | 7.6  | 63.6   | 28.9 |
| 京都市 | 12.1 | 66.4   | 21.6 |

年齢別(各歳)推計人口 H19.10.1現在

住宅の老朽化や袋路・細街路  
の存在による空家の発生

|     | 住宅数     | 空家数    | 空家率  |
|-----|---------|--------|------|
| 東山区 | 26,610  | 4,980  | 18.7 |
| 京都市 | 732,980 | 97,120 | 13.3 |

平成15年住宅土地調査

東大路通を中心とした  
交通渋滞

狭い道路(車道・  
歩道)事情

文化財や自然環境の  
損傷・悪化

交通渋滞などに伴う  
市民の歓迎意識の低下

観光需要に比して不足  
気味な観光案内基盤

## 東山区のこれまでの取組状況

いきいきネット  
ワークの構築、活  
動支援【平成15年  
度~】

- ・地域による高齢者アンケート調査による実態把握支援
- ・安心安全ネットワーク形成事業など
- ・「いきいきコミュニティ」の作成
- ・11学区中6学区構築済

東山・まち・みらい  
塾の活動  
【平成13年度~】

- ・まちづくりの担い手や地域リーダーの人材育成
- ・塾修了生延べ100名以上(NPO代表、自治会役員等として活躍)

危険家屋対策  
空家の再生・活  
用【平成17年度~】

- ・「東山もつと元気に研究会」での研究活動
- ・平成18年度全国都市再生モデル調査に採択
- ・空家の実態調査
- ・空家発生のメカニズムの研究

東山3K協力を  
活用した取組  
の推進  
【平成17年度~】

- 東山3K協力を財源とした取組の推進
- ・交通誘導員の配置
- ・観光とこれの設置
- ・事業アイデア公募
- ・ホームページ開設

交通環境改善  
の取組  
【平成16年度~】

- 地元及び関係機関との連携・協働による3箇年(H16~18)の交通安全実験及び交通施策を踏まえた交通対策の取組(都市計画局と共同実施)
- 【メニュー】
- ・パーク&ライドの実施
- ・交通関連事業者の協力による自動車流入抑制など
- ・観光ボランティア活動の実施

観光案内標識  
表示のあり方に  
関する調査・研究  
【平成18年度~】

- 地元と協働してクルマ観光推進のため観光案内標識表示のあり方に関する調査の実施
- ・29件の観光案内図板・案内標識等の新設・修繕(産業観光局と共同実施)

## 19年度取組

いきいきネットワーク  
の構築、活動支援

- ・第2期東山区地域福祉活動計画の策定
- ・福祉総合マップの作成

東山・まち・みらい塾

- ・第6期の活動
- ・塾修了生によるまちづくり活動組織の発足

空家が  
発生しない環  
境づくり

- ・空家が発生しない環境づくりに向けた市民向け啓発パンフレットの発行
- ・関係行政機関との連携促進による危険家屋所有者への指導強化

東山3K協力金  
と地域との連  
携強化

- ・東山3K大賞の創設
- ・生涯学習(講演会)の場の設定

地域及び関係機  
関との連携・協  
働により、交  
通対策の推進

- ・地元観光関連事業者の自動車流入抑制

東山版地域観光  
案内図板等ネッ  
トワーク

- ・区民・来訪者参加型の観光案内板等デザインアイデアの公募、表彰
- ・観光案内標識等の設置実証実験

## 20年度取組

地域福祉といき  
いきネットワーク  
の活動支援

- ・第2期東山区地域福祉活動計画の推進
- ・学区ネットワーク支援

東山・まち・み  
らい塾

- ・第7期の活動
- ・塾修了生によるまちづくり組織の活動支援

空家再生・活  
用による地域の  
活性化

- ・空家を再生・活用するシステムづくりと推進体制のあり方検討

東山区危険建築物  
対策連絡会設置  
(H20)

3Kから参  
照へ

- 協力金拠出者と区役所に加え、広く区民を含めた新しい主体が参画する事業展開

「住んでよし」「訪ね  
てよし」のまちづく  
りへのソフト、ハー  
ド両面の環境整備

- ・来訪者向けホームページの開設

「歩いて楽しい東  
大路」歩行空間創  
出事業(H22~)

事業者との協働に  
よる観光案内標  
識

- ・地元商店団体や交通事業者等による設置

市民との共汗・共感で進める地域主権時代をリードする総合的なまちづくり

「伝統・創造・文化くやすらぎとふれあいのまち・東山」の実現(東山区基本計画)

新「東山区基本計画」に示したまちづくり【平成二十三年~】

東山区  
80周年  
(平成  
21年)

一新  
中  
小  
貴  
設  
(平  
成  
23年)

京都女子大学と東  
山区役所との地域  
連携協力協定(平成  
20年2月締結)

## 〔テーマ2：具体的な地域コミュニティ活性化の方策〕

### まちづくり委員会の取組

#### (1) 本能学区

##### ア まちづくり委員会の発足

本能学区は、京染の生産地として発展し、地域には、京染をはじめ様々な伝統産業の職人が居住し、ものづくりや商いが行われていた。

しかし、近年、和装産業の低迷により廃業した京染などの工場跡地にマンションが建設されるなど、まちの変容が急激に進むとともに、人口の急激な増加により地域コミュニティにも大きな変化が生じている。

そのような中、平成11年に、自治連合会の役員に限らず、学区外の事業者や、本能学区に興味のある学生、マンション居住者等も参加する組織「まちづくり委員会」が発足し、「住みたいまち、育てたいまち・働きたいまち・本能」をキャッチフレーズに取り組んでいる。

##### イ 主な取組

- |         |   |
|---------|---|
| 平成12年度～ | ・まちなかを歩く日の取組（公開工房等）   |
| 13年度    | ・学区全戸を対象としたまちづくりアンケート調査   |
|         | ・マンション実態調査<br>（委員会のメンバーが手分けして実施）  |
| 14年度    | ・地区計画策定   |
|         | ・冊子「本能学区まちづくりのしおり」作成  |
| 18年度    | ・全国都市再生モデル調査の実施<br>マイモノプロデュースの商業ベース化の検討<br>三条通人通り倍増計画の検討<br>着物姿でそぞろ歩きが似合うまちなみ計画<br>（のれんの花スタンプラリー等）<br>若者まちづくり巻き込み計画<br>（本能ものしり講座の開講等） |

##### ウ 取組の成果

「地区計画の方針」と地区計画には盛り込めないまちづくりの方針をまとめた冊子「本能まちづくりのしおり」の作成等にあたり、徹底した議論を行ったことにより、まちづくり委員会のメンバーがこの内容を十分に理解できたことで、その後の活発なまちづくり活動へと展開できた。

また、まちづくり委員会に本能学区に愛着のある学生や専門家等様々な方々の参加のもと、地域の特色である“染め”を活かした取組等、活発な活動を行っている。

#### (2) 明倫学区

##### ア まちづくり委員会の発足

明倫学区は、織物、染呉服の間屋街、繊維の室町筋として知られ、また、祇園祭に山鉦を多く出す伝統文化を継承してきた地域である。

しかし、和装・繊維産業の低迷，マンション等の高層建築物の増加による町並みの変貌，居住者の高齢化と新しい住民の増加による地域コミュニティの弱体化など様々な課題を抱えていた。

平成8年度から，住民・企業・行政が相互にパートナーシップを組み，地域の課題の共有化と具体的なまちづくりの方法論を探るため，テーマ別の部会ごとに議論を始め，その過程において地域住民を中心とするまちづくり協議会の必要性が共通認識となり，平成13年にまちづくり委員会が発足した。

## イ 主な取組

- |                 |   |
|-----------------|---|
| 平成12年度～<br>15年度 | ・まちなかを歩く日の取組（お茶会等）<br>・明倫まち歩き（気づいたことを写真に撮り，それを基に話し合うことで現状を確認する）   |
| 16・17年度         | ・マンション実態調査，居住者へのアンケート調査<br>・意見交換会，シンポジウムの開催<br>・学区全戸を対象としたアンケート調査   |
| 18年度            | ・地区計画策定<br>・冊子「祇園祭を受け継ぐ風格あるまち，商いと暮らしが響き合うまち 明倫」の作成  |
| 19年度            | ・全国都市再生モデル調査の実施<br>共有・共用空間を活用したまちづくり拠点形成に向けた検討<br>祇園祭にふさわしい風格あるまちなみ形成（エアコン室外機カバー設置等）<br>まちづくり拠点のネットワーク化に向けた検討 |
| 20年度            | ・明倫学区マンション合同避難訓練<br>・明倫学区マンション情報交換会   |

## ウ 取組の成果

「地区計画の方針」と地区計画の方針には盛り込めない内容も含めたまちづくりの方針を具体的に説明する冊子を並行して検討することで，地区計画の方針に掲げたまちづくりの目標の実現に向けた具体的な取組の検討ができた。

また，取組過程で防災，防犯，地域交流，子育てなど様々な議論ができたことにより，幅の広い取組へと展開している。

## 〔テーマ3：地域コミュニティ活性化に向けた行政組織について〕

### 「まちづくりアドバイザー」について

#### (1) 経過

「京都市における行政区制度のあり方について」(京都市行政区制度検討調査会報告)や「京都市市民参加推進計画」において、地域における市民主体のまちづくり活動を支援するため、まちづくりの専門家の派遣の必要性が提案された。

区役所が市民の身近なところで地域行政を推進する総合行政機関としての役割を果たし、地域づくりの拠点としての機能をより一層発揮するための取組の一環として、まちづくりに関する専門的な立場から、地域における市民主体のまちづくり活動を支援する「まちづくりアドバイザー」を配置している。

#### (2) 制度の概要

ア 人数 6名

イ 身分 京都市非常勤嘱託員

#### ウ 業務内容

各区役所・支所で職員とともに事業を推進するほか、地域の課題解決のため、地域に出向いて地域住民の活動をサポートする。

地域における自主的なまちづくり活動の支援

- ・ ワークショップ等の企画立案
  - ・ 運営に係る助言・指導及び結果の分析 など
- 各区基本計画の推進に関するアドバイス
- ・ 各区基本計画推進会議の企画運営
  - ・ 計画推進のためのアドバイス
  - ・ データ分析 など

まちづくりに関する幅広い助言

まちづくりに関する専門的な知識・経験を生かした区役所実施事業への助言